

大口町コミュニティー・ワークセンター

元気な高齢者、大活躍！

役場からほど近い五条川のほとりに「公益社団法人 大口町コミュニティー・ワークセンター」があります。

ここでは大口町の45歳以上の方が登録し、元気に仕事をしています。



▲剪定作業

人生80年、退職後もまだまだ現役！

ワークセンターは、60歳以上を正会員、45歳以上60歳未満を準会員とし、町内の健康で働く意欲のある方なら誰でも会員になることができます。現在（平成29年12月）、正会員225名、準会員2名が登録して仕事をしています。仕事内容は、週20時間程度の町内での軽易な業務。1コイン（500円）で家事援助サービスや清掃、施設管理、組み立て、棚卸などの軽作業が中心です。「全国的に会員の減少が今

の課題です。現在の会員は60代が3割、70代が7割ほどです。若い年代の方や、女性にもっと入会していただきたい、仕事のアイデアをいただきたいですね」と、事務局次長の田路雅人さん。

カフェきんもくせい

仕事は企業や事業所、個人からの依頼がほとんどですが、事業の一環としてワークセンター内にある「カフェきんもくせい」の営業もあります。平日の午前8時30分から11時まで、モーニング、月水木の午前11時から午後

2時まではランチを提供しています。ここではベテラン主婦10名が大活躍。ローテーションで、メニューの考案から調理、提供までをおこなっています。「メンバーは月に1回会議を開き「あでもない、こつでもない」と意見を出しながらメニューを考えています。健康を考え、豆腐や野菜が中心のヘルシーメニュー。それぞれが得意分野を生かし、ドレッシングなどは手作りしています」と会員の山田とし子さん。

「会員は十人十色の個性をもっています。それぞれが個性を生かしている

色を出せるよう、私たちスタッフが会員さんとできるだけ「コミュニケーションをはかって仕事がしやすい環境でできるよう心がけています」と田路さん。



▲カフェきんもくせい

こんな仕事をしています



余野3号公園の清掃業務
手慣れた手つきで、あっという間に公園がきれいになりました。



飛散防止
フィルム貼り
チームワークが大切です！



佐藤技工(株)で
作業をする会員

剪定ができる方を
募集しています！



カフェきんもくせい
日替りランチの仕込み
かしーうどんは
一番人気です！



個人宅での
お仕事の依頼も
受け付けます！



ハートフル大口の
送迎バスの運転手

軽作業はシルバー世代におまかせ！

ワークセンター会員には「就業開拓推進員」があり、仕事と会員の両方を獲得すべく東奔西走しています。就業開拓推進員の山口元生さんにお話を伺いました。

就業開拓推進員について、具体的に教えてください。

——主に企業や事業所へ出向き、シルバー世代の方に発注していただける仕事を探しています。

シルバー世代の皆さんは、重いものを持つ仕事やスピードを求められる仕事は難しいですが、経験や知識をたくさん持っている方が多いので粘り強く確実な仕事をされます。その強みを生かせる組み立てやデータ管理など、屋内の比較的軽作業的な仕事をワークセンターに発注していただけたらとても助かります。企業の方々に協力いただくと大変うれしです。

会員募集は、半年に一回、ワークセンターのパンフレットを全戸にポストイングし、月に1回説明会を開いています。入会説明会は毎月第3火曜日の9時半からワークセンターでおこ

なっています。ご興味を持たれた方はぜひ一度のぞいてみてください。

入会される方のきっかけは何が多いですか？

——口コミや友人からの紹介が多いですね。道を歩いていて、家の前で作業されている方を見かけたときに声をかけてスカウトさせていただくこともありますよ。

一年以上続けられる方は全体の8割ほどと聞きました。長続きする秘訣は何でしょうか？

——生活のためという方や、ご自身のやりたいことなど、趣味とマッチしている方が長続きます。やはり、ご自分の趣味や特技で皆さんが喜んでくれることを生きがいを感じる方が多いのかなと思います。

会員募集

入会説明会は毎月第3火曜日

2月20日火 3月20日火

時間 午前9時30分
場所 コミュニティー・ワークセンター会議室

お仕事募集

企業・一般家庭の皆さまへ

問合せ先

0587-95-8101

特技を生かして

ワークセンター会員には、趣味や特技を生かした仕事をされている方も多くいらっしゃいます。その中でも濱口宗好さんは、現在御年80歳。現役時代木工の仕事をされていた技術を生かし、技術系の仕事などをされています。お話を伺った時も、役場庁舎で脚立を担いで軽やかに階段を上り、窓の飛散防止フィルム貼りのリーダーとしてテキパキと指示を出していらっしゃいました。そんな濱口さんにもお話を伺いました。



▲役場のフィルム貼りを担当された皆さん

ワークセンターに入られたきっかけを教えてください。

——70歳まで現役で働いていたのですが、引退してからは特に趣味もなく車を洗ったり木工をやったり。このまま家でテレビの番をしてはいかんなど思っていた時に、たまたま自宅でカンナなどの刃物を研いでいたら、それを見た近所の人に「ワークセンターに登録したら」と勧められました。もともと外に出るのが好きで体を動かすのが苦にならない性分なので、72歳で登録しました。

ワークセンターではどのような仕事をされていますか？

——有機資源の施設の受け付けを週に2回ほどしています。あとは、駐車場のライン引きや窓のフィルム貼りなど、軽作業です。窓のフィルム貼りは講習を受けて技術を習得しました。フィルム貼りは、施工液を吹き付けヘアで空気を抜くんですが、施工液に工夫をしてよりきれいに貼れるようにしていますよ。

ワークセンターに登録してよかったことは？

——一番は、人脈ができたこと。家にこもっていたら全く会うことのない



▲大町コミュニティ・ワークセンター

かった人たちと知り合えました。話せる友だちができたことはとてもうれしいです。

とても80歳には見えませんか！ ずばり、健康の秘訣は何でしょうか？

——体を動かすことです！ 毎朝6時に起きてラジオ体操とストレッチをしています。あとは、楽しみを持つこと。一日の終わりに好物の鮭の皮などをアテに晩酌するのが何よりの楽しみです。好き嫌いはほとんどありませんが、ラッキョウと納豆は苦手ですね(笑)。

取材にて

平均寿命が80歳を超えた近年、定年退職後も変わらずお元気な方はたくさんいらっしゃいます。体力は若い時のようにとはいかなくても、豊富な人生経験と知識を生かし、生き生きと活躍されている方がワークセンターには大勢いらっしゃいます。

「退職後の皆さんは、人生経験が豊富で教わる人が多い一方で、個性も豊かで誰とも仲良くというわけにはいきません。でも、その中でそれぞれに合った活躍の場を見つければ、上手に寄り添っていくことが我々の仕事です。『クレーム即対応』、普段のちょっとした会話も大切に、何事も問題が大きくなる前に対応するよう心がけています」と、田路さんは高齢者の方々と一緒に働くスタッフとしてのやりがいと心構えを語ってくれました。

それにしても、年齢を感じさせないワークセンターの皆さん。健康の秘訣は外に出て体を動かすことと毎日の楽しみ、そして、他人と話をすることであるとお元気な皆さんと接して実感しました。